

広報室

一般会計要求総額 352 百万円
(対前年度 ▲7.9%)

Public Information Office

【令和6年度 予算要求の方針】

北九州市が持つポテンシャルを最大限に生かし、人や企業から選ばれる街とするために、本市が目指す将来の都市像やその実現に向けて取り組んでいく重点戦略として、新たなビジョンが策定されました。

この目標を実現するためには、市民に本市の様々な情報や、市政の前向きな動きを伝え、街の活気を生み出すとともに、市のポテンシャルを市内外に積極的に広報していくことが重要です。

そのためには、適切なタイミングで、関心を持っていただける内容を、一貫性をもって伝えることが必要となります。

これらを、効率的、効果的に行うため、広報においては、SNSを含むスマートフォンを活用した情報発信の更なる活用や機能拡充が強く求められており、広報室では、これらに応えるべく、さらなるデジタル技術の活用と強化に全力で取り組んでいます。

その一方で、デジタル技術の活用に消極的な層に対応するため、従来型のアナログ的広報に加え、地上デジタル放送技術などを活用したより効果的な広報を行っていく必要があります。

こうした状況を受けて、令和6年度、広報室ではこれまでのアナログ的広報とともに、SNS等のデジタル的広報を組み合わせながら、市政情報をわかりやすく、迅速に広報していくため、積極的な活動を展開します。

【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨ : 新規事業、⑩ : 拡充事業

I “わかりやすく届きやすい” 市政情報の提供 要求額 197百万円 (対前年度 ▲9.4%)

市政だよりや市政テレビ・ラジオなどの媒体により、市の重要施策をはじめ、市民生活に密着した身近な情報をお知らせします。

■市政だより発行事務 ■市政テレビ等による広報 ■地域密着広報事業

II 情報の受け手に応じた効果・効率的な情報発信 要求額 64百万円 (対前年度 ▲4%)

市ホームページや市公式LINE等により、暮らしや防災などの市政情報をタイムリーに発信するとともに、各広報ツールのデジタル化を強化します。

■情報発信デジタル化推進事業 ■広報発信強化推進事業
■ホームページを活用した情報発信事業
■市ホームページ運用機器等の更新・保守事業

III 協働のまちづくりを推進するための市民ニーズ把握

要求額 91百万円 (対前年度 ▲7.3%)

区役所での手続きや、相談等に関する問い合わせの窓口を一元化した「北九州市コールセンター」を運営し、市民サービスの向上を図ります。

■北九州市コールセンター運営事業 ■広聴事務事業
■北九州市コールセンター電話システム保守点検事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度広報室予算要求方針

1 令和6年度広報室予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度広報室予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	351,971千円
(令和5年度予算額	382,206千円)
前年度比	▲7.9%

(2) 令和6年度広報室予算要求の方針

北九州市が持つポテンシャルを最大限に生かし、人や企業から選ばれる街とするために、本市が目指す将来の都市像やその実現に向けて取り組んでいく重点戦略として、新たなビジョンが策定された。

この目標を実現するためには、市民に本市の様々な情報や、市政の前向きな動きを伝え、街の活気を生み出すとともに、市のポテンシャルを市内外に積極的に広報していくことが重要である。

そのためには、適切なタイミングで、関心を持っていただける内容を、一貫性をもって伝えることが必要となる。

これらを、効率的、効果的に行うため、広報においては、SNSを含むスマートフォンを活用した情報発信の更なる活用や機能拡充が強く求められており、広報室では、これらに応えるべく、さらなるデジタル技術の活用と強化に全力で取り組んでいる。

その一方で、デジタル技術の活用には消極的な層に対応するため、従来型のアナログ的広報に加え、地上デジタル放送技術などを活用したより効果的な広報を行っていく必要がある。

こうした状況を受けて、令和6年度、広報室ではこれまでのアナログ的広報とともに、SNS等のデジタル的広報を組み合わせながら、市政情報をわかりやすく、迅速に広報していくため、積極的な活動を展開する。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

該当なし

(2) 「彩りあるまち」の実現

該当なし

(3) 「安らぐまち」の実現

“わかりやすく届きやすい” 市政情報の提供

- ・ 市政だより発行事務 133,007千円

市民に対して、市政の重要な施策や市民生活に身近な情報を伝えることにより、市政への市民参画を推進することを目的に「市政だより」を月2回発行する。(人件費及び紙代等の上昇分を増額要求。)

情報の受け手に応じた効果・効率的な情報発信

- ・ 情報発信デジタル化推進事業 20,000千円

必要な人に迅速・効果的に市政情報を届け、かつ必要な情報を探しやすい環境づくりを進めるため、「北九州市ホームページ及び公式LINE」、「市政だよりWEB版」の運用を行う。

また、高齢者等インターネットを活用できない方々へのきめ細かな情報発信のため、「地上デジタル・データ放送」を活用した情報提供を行う。

協働のまちづくりを推進するための市民ニーズ把握

- ・ 北九州市コールセンター運営事業 73,636千円
- ・ 北九州市コールセンター電話システム保守点検事業 1,386千円

市民からの問い合わせや相談に対応する「北九州市コールセンター」の運営を行うとともに、区役所の代表電話交換業務を行う。

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) その他一般経費（内部管理費）の見直し